公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU
www.kitakyu-u.ac.jp

２０２６年１０月３０日

報道関係各位

公立大学法人北九州市立大学

次期学長の選考結果（現学長の再任）について

現学長（柳井 雅人）の任期が、2027 年３月３１日で満了となるため、地方独立行政法人法及び公立大学法人北九州市立大学定款に基づき設置された学長選考会議が、次期学長の選考を行ってきました。

その結果、次期学長として、柳井 雅人 氏の再任を決定いたしましたので、お知らせします。

１　次期学長（現学長の再任）

氏　　名　柳井（やない）　雅人（まさと）

生年月日　　１９６１年５月３１日（現在６５歳）

２　次期学長の任期（再任の場合）

2027 年４月１日から 2029 年３月 31 日まで（２年）

※　次期学長のプロフィールや次期学長の選考理由等は、
別紙「北九州市立大学　次期学長の選考結果について」をご覧ください。

３　次期学長のコメント

北九州市立大学は公立大学で第３位の学生数（約 6,700 人）を有する西日本の中核的大学として存在感を示すとともに、地域における教育、研究、社会貢献の拠点として、大きな役割を果たしてまいりました。急速に進む１８歳人口の減少、不安定化する国際情勢、AI 技術の進展や DX 化など社会構造が変化する中で、より質の高い教育と、高度な研究、それに基づく社会貢献が求められております。

こうした課題に対して本学は、情報イノベーション学部を開設（２０２７年４月）するとともに、第４期の中期計画において、データサイエンス教育の強化、アントレプレナーシップ教育の推進、高度なグローバル人材の育成、優れた研究と社会実装、地域企業や各大学との連携などで応えてまいりました。更なる質の向上を目指して、中期計画を着実に実行、完遂しながら、北九州市立大学及び地域社会の更なる発展を実現することに邁進していく所存であります。

※　写真データが必要な場合は、下記までご連絡ください。

－　問い合わせ先　－
北九州市立大学総務課 担当 課長：森　係長：松本
電話 ０９３-９６４－４００４：ＦＡＸ ０９３－９６４－４０００
メールアドレス jinji@kitakyu-u.ac.jp

２０２６年１０月３０日
公立大学法人北九州市立大学
学　長　選　考　会　議

北九州市立大学　次期学長の選考結果について

現学長が２０２７年３月３１日をもって任期満了となるため、２０２７年４月１日以降の次期学長の選考について、公立大学法人北九州市立大学学長選考会議において審議してまいりました。

その結果、次期学長として柳井雅人氏の再任を決定いたしましたので、お知らせいたします。

１　次期学長

□氏　　名　柳井　雅人（やない　まさと）
□年　　齢　６５歳（２０２６年１０月３０日現在）
　　（生年月日：１９６１年５月３１日）
□最終学歴　九州大学大学院経済学研究科
　　博士（経済学）
□略　　歴
・1993.04～1994.03　北九州大学経済学部講師
・1994.04～2003.03　同　助教授
・2003.04～　　同　教授
・2004.01～2005.03　同　経済学部経済学科主任（評議員）
・2005.04～2006.03　同　経済学部経済学科長
・2006.04～2008.03　同　学生部長
・2011.04～2013.03　同　入試広報センター長
・2013.04～2015.03　同　経済学部長
・2015.04～2017.03　同　副学長、都市政策研究所長
　　キャリアセンター長
・2017.04～2023.03　同　理事、副学長、地域戦略研究所長
　　キャリアセンター長（～2021.03 まで）
・2023.04～　　同　学長、副理事長



※　2001 年 4 月に北九州大学は北九州市立大学に名称変更
※　2015 年 11 月に都市政策研究所は地域戦略研究所に改組

２　次期学長の任期

２０２７年４月１日から２０２９年３月３１日まで（２年）
※　新任の場合：任期４年、再任の場合：任期２年となる。

３　選考経過

（１）学長候補者推薦の公示期間
２０２６年９月１日　～　２０２６年９月３０日
※　学長候補者として推薦された者（１名）
（２）学長選考会議による審議・選考
２０２６年６月２９日　～　２０２６年１０月２８日（計５回）

４　選考理由

次期学長の選考にあたっては、大学の全ての校務の包括的な最終責任者並びに副理事長として、中期目標・中期計画の推進・実現に強い意欲を有すること、また、資質・能力について「教職員に対する指導力、統合力及び大学経営に関する見識」、「高等教育及び学術に関する見識」、「北九州の地域性及び北九州市施策等に関する知識・理解」の三点を特に重要な要素として、所信表明書、推薦理由書、推薦人名簿、選考会議による面接などに基づき、慎重かつ厳正な審議を行いました。

その結果、次期学長に相応しい人物として、柳井雅人氏を選考いたしました。選考理由については、以下のとおりです。

柳井雅人氏は、2023年度の学長就任以降、第4期中期計画に基づく各種施策を強いリーダーシップのもとで着実に推進してきました。「地域」「環境」「世界」に「情報」を加えたビジョンを策定し学内外に明確に示すとともに、IRを活用した内部質保証による改革・改善、戦略的な入試広報、自主財源の確保や支出の抑制など、大学経営上の課題を具体的な成果へと結び付けてきました。また、委員会のスリム化や業務のDX化など、大学全体を俯瞰して組織や業務の改善を進めており、大学を牽引するリーダーシップと大学経営に関する高い見識、実行力を有していると判断しました。

教育研究においては、2027年度に開設する情報イノベーション学部の実現に向け、多くの企業や大学との連携を進め、実践的な教育や共同研究の基盤を築いてきたことを高く評価しました。面接では、AI技術が急速に進展する中でも、学生が自ら考えて課題を発見し、その解決に向けて主体的に行動するとともに、自らの考えを表現する力を育成していく考えが示されました。また、J-PEAKS事業への参画やURA機能の強化などを通じて研究力の向上を図っており、本学の教育研究を発展させていくための十分な見識を有していると判断しました。

また、地域との関わりにおいては、これまで培ってきた行政、企業、大学等との幅広いネットワークを生かし、地域・企業との連携を進めることで、北九州地域における本学の存在感を高めてきました。さらに、本学の教育研究の強みを生かして地域産業の振興や都市の活性化につなげていく将来像を示しており、北九州の地域性や市の施策等を踏まえながら、大学の教育研究成果を地域社会へ還元していく姿勢を有していることを評価しました。

今後、本学は、2027年度の情報イノベーション学部の開設に加え、現中期計画の総仕上げと次期中期計画の策定に向けた重要な時期を迎えます。柳井雅人氏には、これまで培ってきた経験と実績を基盤として、教職員との対話を一層深めながら大学全体の中長期的な将来像を明確に示し、これまで進めてきた改革を確かな教育研究成果と地域貢献へと結実させ、次世代へ継承していくことを期待しています。

以上を総合的に勘案し、学長選考会議は、柳井雅人氏が、本学の学長に求められる資質・能力を十分に備え、これまでの改革を継続・強化させるとともに、本学のさらなる発展を牽引する人物としてふさわしいと判断し、次期学長に選考しました。

学長選考会議は、地方独立行政法人法及び大学定款に基づき、経営審議会委員選出の３名と、教育研究審議会委員選出の３名の合計６名で構成される常設の機関

＜構成員＞

議長：井上　龍子　（八幡駅前開発株式会社　代表取締役社長）

桝尾　美栄子（アジア女性交流・研究フォーラム　専務理事
北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　所長）

吉村　知泰　（北九州市立大学　事務局長）

内田　晃　（北九州市立大学　副学長）

寺田　由美　（北九州市立大学　副学長）

井上　浩一　（北九州市立大学　国際環境工学部長）